



災害時のボランティア支援を円滑に 企業・大学・地域と運営訓練を実施

6月6日(土)にメイトム宗像で、宗像市社会福祉協議会と関係機関が連携し、災害時のボランティアセンター運営訓練を実施します。

昨年8月の豪雨では市内各地で被害が発生し、被災地の復旧活動には延べ346人のボランティアが参加しました。一方で、社会福祉協議会及び市でのボランティアセンター運営には人員及び保有資材に限りがあり、関係機関との連携や資機材支援体制の強化が急務となっています。

今回の訓練では、社会福祉協議会に加え、企業、大学、地域団体が協働し、ボランティアに対するオリエンテーション、グルーピング、マッチングやスコップ等の資材の貸出し及び現地への移動などを実施します。また、給電車を活用した支援体制の検証も行い、災害時の連携強化につなげます。



《昨年のボランティアの様子》



《給電車による資機材の活用イメージ》

【災害ボランティアセンター運営訓練 概要】

日時: 6月6日(土) 9:20~12:00

場所: メイトム宗像(宗像市久原180)

参加者: 宗像市社会福祉協議会、トヨタ自動車九州株式会社、福岡トヨタ自動車株式会社、

日本赤十字九州国際看護大学(学生20人程度を含む約30人)、宗像市 ほか

内容: 災害ボランティアセンター運営訓練、資機材の供用訓練、ボランティア派遣訓練、

給電車を活用した支援訓練、関係機関との連携確認

【背景】

今回の訓練では、企業や大学、地域団体などと連携し、災害時に必要となる人的支援や資機材支援の流れを確認します。また、給電車はこれまで避難所支援を中心に活用されてきましたが、ボランティア活動支援での活用を想定した訓練により、新たな支援方法の検証につなげます。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市危機管理課 担当: 森、前田 TEL: 0940-36 5050